

迎 春



町民と共に歩む議会を 目指して

平泉町議会議長 佐藤 孝悟

新年あけましておめでとうござい
ます。皆さま方におかれましては、穏やか
なお正月をお過ごしのことと思います。
また、日ごろより我々議員の議会活動に
ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。
さて、昨年は、世界文化遺産登録5周
年記念ということで、多くのイベントが
開催されました。特に世界遺産学習全
国サミットでは、世界遺産登録地域と共
に、多くの自治体も参加し、事例発表が
行われました。あらゆる事例発表を通し
て世界遺産の今後の方向性などが議論
されたところであり、これからの道筋が
少しでも見えてきたのではないかと思
います。

本年は、世界文化遺産の追加登録はも
ちろんのこと、「世界農業遺産」の認定が
話題になっております。すでに目標スケ
ジュールが平成31年の認定となってお
り、この目標に定めた対応が急がれま
す。また、当事者に対する説明をしっか
り行う必要がありますし、2市1町に
わたる地域のため連携を取りながら進
めていかなければなりません。すでにご
存知のように、この時期に同じような事
業が次々と進められております。昨年認
定されたものでは、一関・平泉の照井堰
が「世界かんがい施設遺産」に登録され、
また、訪日外国人旅行者を誘客する取り
組みとして「食と農の景勝地」に一関・平
泉が認定され一体的に海外発信するこ
とになっております。以前より次世代の
大型加速器「国際リニアコライダー（I
LC）」の建設候補地として岩手、宮城両

県にまたがる北上高地が有力視されて
おり、これらを含めてもこの地域に、多
くの期待が寄せられております。国策に
よっては、我々の町の動向が左右される
部分もありますが、自ら活用することを
肝に銘じる必要があります。受け入れの
良し悪しは、いかにして当事者が利用
し、活用していくかにあります。「何もや
らなければ何も生まれない。何かをやっ
て初めて何かが生まれる」共にこの町の
在るべく姿について考えていきたいと
思います。

当町では、「総合計画後期計画」を基に
事業が進められていますが、本年度は、
大型事業をどのように決断し進めてい
くか、財政計画の問題もあり難しいとこ
ろであります。順次進めていかなけれ
ばなりません。議会におきまして、昨
年より議会基本条例を制定しており、本
年は2年目を迎え、少しでも前に進めて
実践していかなければなりません。住民
の皆さまにとって身近な議会となるよ
う、議会基本条例に沿った運営をしなが
ら、十分な情報を伝えていきたいと思
います。いずれにしましてもそこには、「住
民の福祉向上」という目的がなければな
りません。そういう意味では、住民の皆
さまと共に歩む議会を目指してまいり
ます。

結びになります。平泉にとって素晴
らしい年であり、皆さま方のご健勝、ご多
幸を心からご祈念申し上げます。
まして新年のあいさつといたします。

子どもを産み育てやすい 環境の充実を

平泉町長 青木 幸保



新年にあたり、ごあいさつを申し上げます。
皆さまには、新たな希望を胸に新春をお
迎えしたこととお慶び申し上げます。また、
日ごろより町政に對しましてご理解とご支
援を賜り深く感謝申し上げます。

本年は、未曾有の被害をもたらした東日本
大震災から6年目を迎えます。一日も早い復
興をお祈りいたします。

さて、昨年は、世界遺産登録5周年の節目
の年にあたりました。4月の西行桜の森植樹
会をスタートに、数多くの行事が行われまし
た。その記念イベントも、本年の3月に行わ
れます「世界ふしぎ発見！」でお馴染みの草
野仁さんの講演会が最終行事となります。の
で、ぜひともご参加いただきたいと思いま
す。

また、訪日外国人旅行者の誘客を目的とし
て創設された「食と農の景勝地」の第一弾認
定地域に、「もち食文化」を掲げた平泉町と一
関市が選定されましたし、同地区を流れる照
井堰用水が、世界かんがい施設遺産に登録さ
れております。世界文化遺産とともに世界農
業遺産を目指す当町にとりましては、非常に
喜ばしい年でありました。

本年は、昨年策定いたしました新平泉町総
合計画後期基本計画の2年目に当たります。
世界遺産を生かしたまちづくり、産業振興、
人口減少・少子化対策、雇用の確保など、一朝
一夕では解決しない問題も多々ございます
が、計画の進捗管理を徹底し、その克服に向
けて粘り強く着実に取り組んでまいります。

特にも、3回の懇談会を開催し、多くのか
たがたからご意見をいただきました社会教
育施設につきましては、優先順位などを定め
ながら建設する方向で検討に入っております。

すし、同様にスマートインターチェンジ周辺
の土地利用につきましても、方向性を固めて
まいります。

また、春にはいよいよ道の駅平泉が開業い
たします。この道の駅は、町内外へ農産物や
商工品をアピールする直売所、主に町内産食
材を使用したレストラン、北東北観光情報の
窓口、さらには防災施設などさまざまな機能
を持ち合わせております。新たな拠点施設が
オープンすることにより、観光客の導線は変
化し、町内の活性化につながるものと確信し
ております。ぜひともご期待ください。

現在、政府が推進しております地方創生の
大きな要は、子どもを産み育てやすい環境の
整備であり、それを前提とした上での働く
場、住環境を整えることが必要であろうと考
えております。当町では、中学生までの医療
費無料化を行っておりますが、対象年齢の引
き上げなどさらなる拡充に努め、同時に妊産
婦に対する助成も続けてまいります。そして
昨年行いました遊休町有地の宅地分譲を引
き続き検討し、雇用を創出する企業誘致に積
極的に取り組んでいく所存です。

このような町政の動向につきましては、会
議録の公表、説明会の開催などさまざまな角
度から情報発信に努め、共有を図り、持続可
能な町政運営をいたします。これこそが協働
のまちづくり、チーム平泉の第一歩と考えて
おりますので、皆さまからも多くのご意見
をお寄せください。

結びに、本年の皆さまのご健勝とご多幸を
心からお祈りいたします。